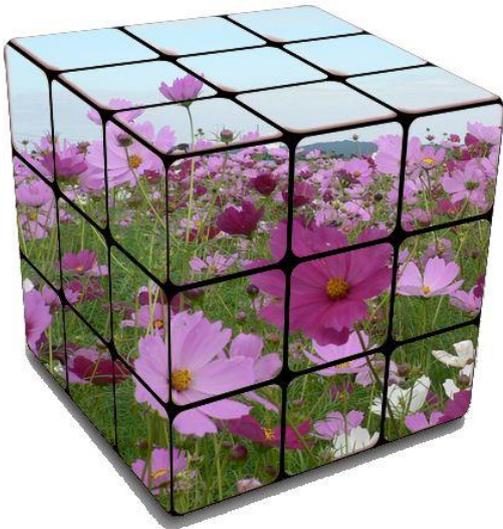


# JTrim ルービック・キューブ

※ルービック・キューブの形に画像を入れてみましょう。

2015/3/14 作成 yabe

《完成品》



《元の画像です。》



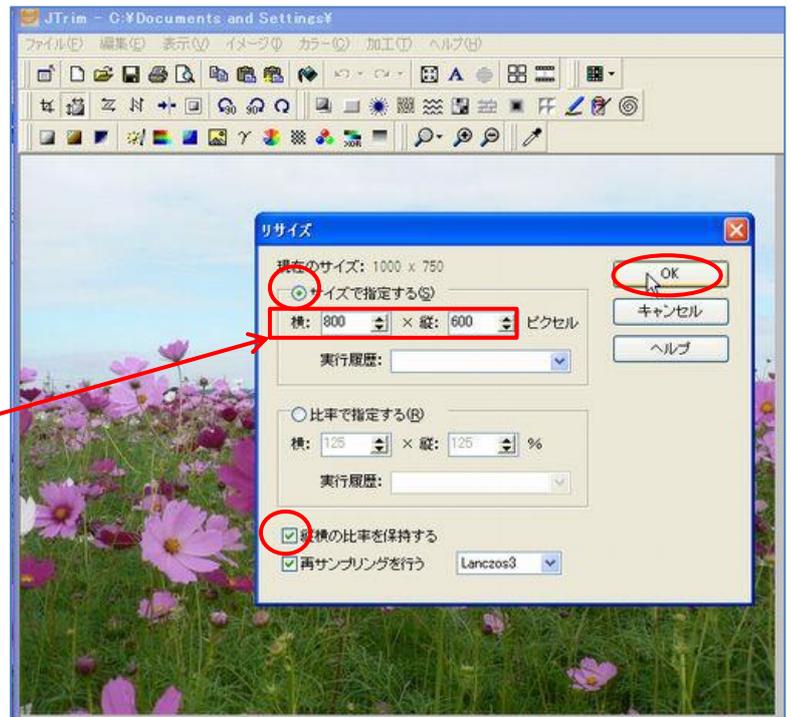
1. 画像を 500X500 のサイズで用意します。

★一つ目の JTrim を立ち上げて、画像を読み込みます。画像によっては縮小します。

『イメージ』→『リサイズ』をクリックすると、「リサイズ」のダイアログが表示されます。

『サイズで指定する』にチェックを入れ、横、縦に数字を入れます。このとき、どちらも500以上の数字を指定します。『縦横の比率を保持する』にチェックを入れて縦を 500 と入力すると(665X500)になりました。

『OK』をクリックすると画像の容量が縮小される。



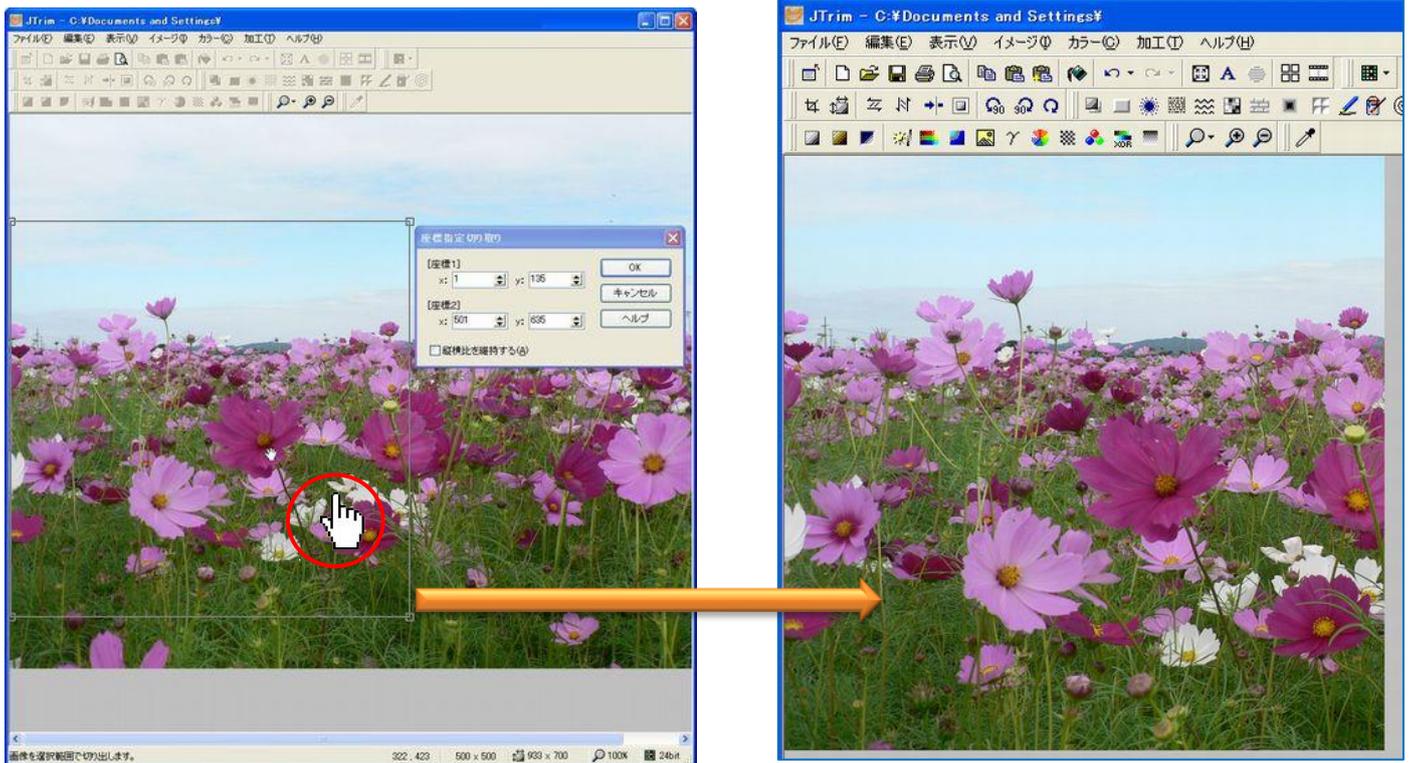
次に、500X500の大きさに切り取ります。『イメージ』→『切り抜き』で「座標指定切り取り」のダイアログが表示される。

座標1 x:0、 y:0

座標2 x:500、y:500 を指定します。

\* 画像上に500x500の枠が表示されます。

この枠の中にマウスポインタを持っていくと矢印が手の形になります。マウスの左ボタンをクリックしたまま、移動させると、枠が移動します。使いたい画像の場所に枠を移動させます。位置が決まったら、『OK』をクリックすると、【500x500】のサイズで切り取られます。



## II. ルービック・キューブの形に合成します。

### 1. 一回目の合成をします。

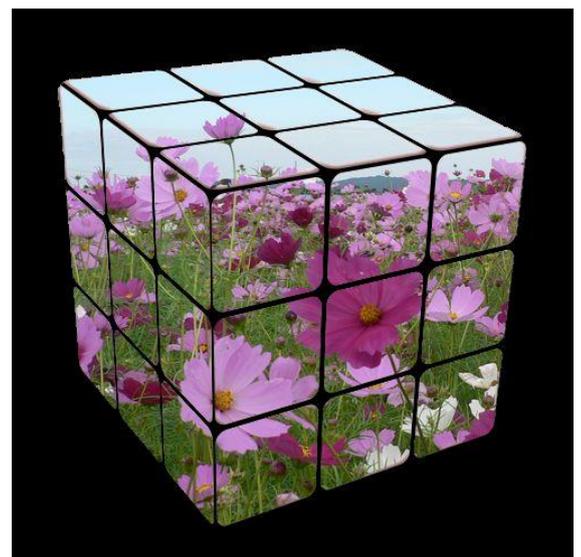
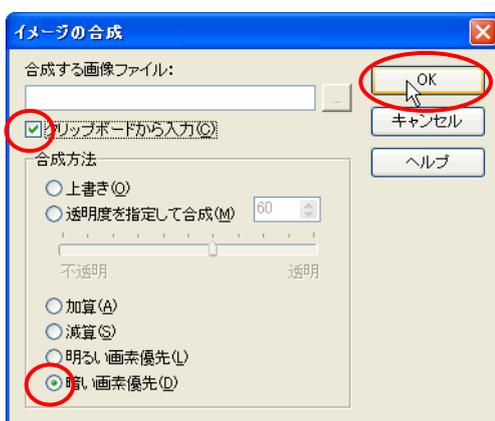
★二つ目の JTrim を立ち上げ、「ルービック型枠と写真」フォルダから「ルービック型枠 I」を読み込みます。

『編集』→『コピー』します。

このとき、JTrim が2つ立ち上がっていると思います。1つは今読み込んだ、ルービック・キューブの画像、もう1つは、先ほど500x500サイズの画像(ここではコスモス)

★一つ目の Jtrim コスモスの画像で、作業します。

『編集』→『合成』で「イメージの合成」ダイアログが表示されます。『クリップボードから入力』にチェック、『暗い画素優先』にチェックを入れます。『OK』をクリックすると、右の画像のようになります。



次に、ルービック周黒の黒い部分を白く塗りつぶします。『編集』→『塗りつぶし』で「塗りつぶし」のダイアログが表示されます。左のマスをクリックすると、「色の設定」ダイアログが表示されるので、『白』をクリックする。



『OK』をクリックすると色が指定される。許容範囲を『10』に設定して、塗りつぶします。マウスポインタが画像の上では、塗りつぶしのマークになるので、ルービック周黒の黒い部分でクリックします。



クリックすると白く塗りつぶされるので、「塗りつぶし」のダイアログを **×** で閉じます。下の画像のようになります。



## 2. 二回目の合成をします。

### ★二つ目の Jtrim ルービック型枠のほう

「ルービック型枠と写真」フォルダから「ルービック型枠Ⅱ」を読み込みます。

『編集』→『コピー』します。

### ★一つ目の JTrim に戻ります。(花が入っているキューブの画像のほうの)

『編集』→『合成』で「イメージの合成」ダイアログが表示される。『クリップボードから入力』にチェック、『暗い画素優先』にチェックを入れます。『OK』をクリックすると、次の画像のようになり、出来上がりです。

